

鶴岡市地域まちづくり未来事業計画

平成31年3月策定

令和5年3月変更



鶴岡市

目 次

1 地域まちづくり未来事業計画について

(1) 策定の趣旨	1
(2) 計画期間	1
(3) 計画の位置付け	2
(4) 財源について	2

2 地域振興の方針と施策の方向及び実施事業について

(1) 鶴岡地域	3
(2) 藤島地域	5
(3) 羽黒地域	1 8
(4) 櫛引地域	2 6
(5) 朝日地域	3 7
(6) 温海地域	4 7

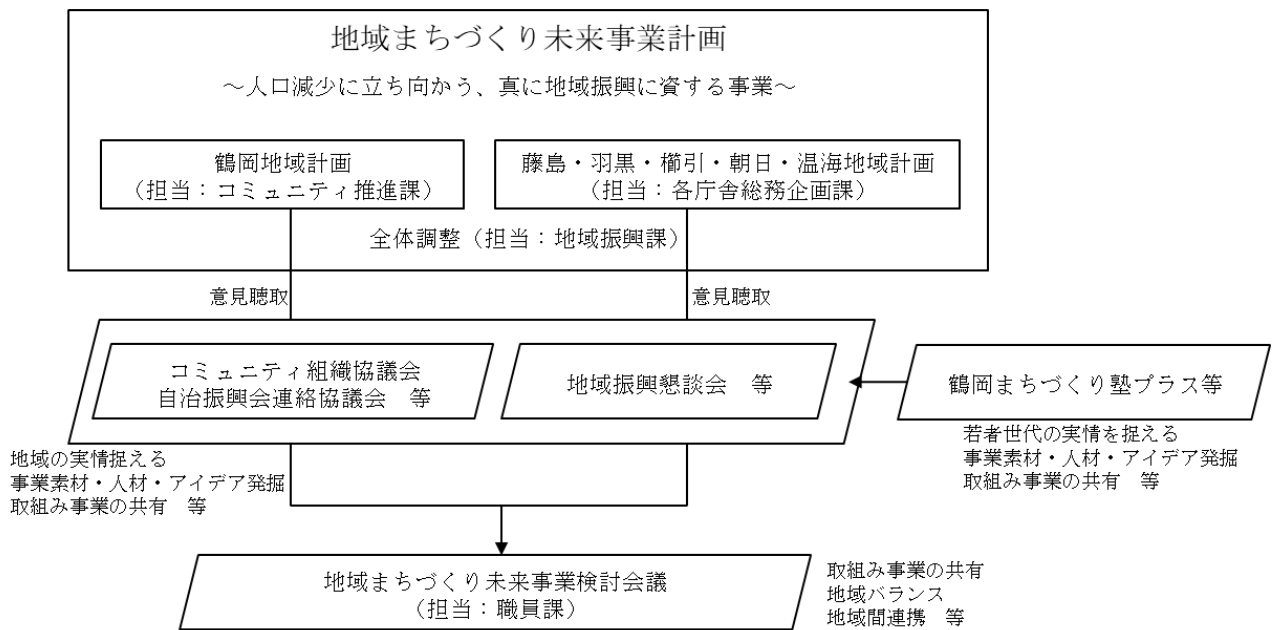
1 地域まちづくり未来事業計画について

(1) 策定の趣旨

「地域まちづくり未来基金」の設置目的である「地域社会・コミュニティの振興及び均衡ある発展」を図るため、「人口減少に立ち向かう、真に地域振興に資する」事業を地域まちづくり未来事業として実施することとし、これを地域まちづくり未来事業計画の中に位置づけ明らかにします。

地域まちづくり未来事業計画に基づいて地域ごとに事業を実施することにより、魅力あるまちづくりを推進するものです。

また、策定にあたっては、全ての地域が個性を發揮し、その魅力を高めるとともに、人材を育成していくまちづくり活動を活性化できるよう、各地域振興懇談会や鶴岡まちづくり塾、地域まちづくり未来事業検討会議など、様々な場面において地域の意見を伺い反映しています。



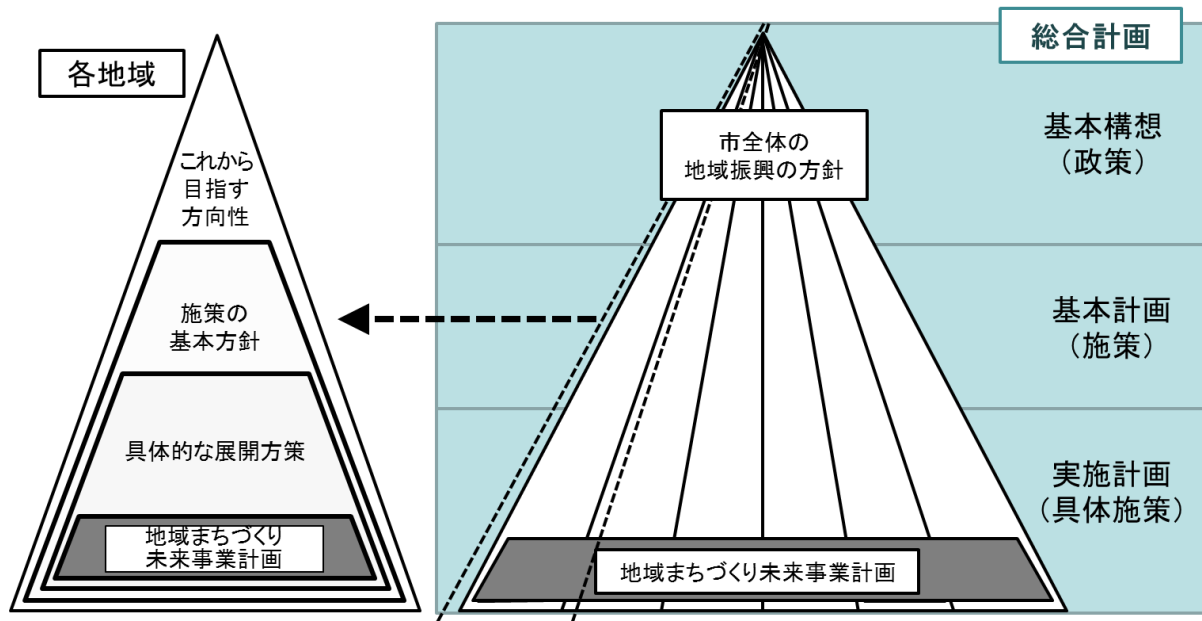
【地域まちづくり未来事業計画策定のイメージ】

(2) 計画期間

2022（令和4年）年度から概ね3年程度とし、年度ごとに見直しを行います。

(3) 計画の位置付け

地域まちづくり未来事業は、第2次総合計画（計画期間：2019（平成31）年度から10年間）及び各地域の地域振興計画（計画期間：2019（平成31）年度から5年間）において、地域振興の方針を実現するためのより具体的な施策として位置づけられます。



【総合計画と各地域の地域振興計画、地域まちづくり未来事業計画の関係】

(4) 財源について

地域まちづくり未来事業は、主な財源として「地域まちづくり未来基金」を充てるほか、起債や国・県等の交付金なども活用します。

2 地域振興の方針と施策の方向及び実施事業について

(1) 鶴岡地域

○地域振興の方針

鶴岡地域では、社会情勢の変化を捉えて、全国に先駆け住民の自主的なコミュニティ活動の拠点づくりを進め、平野部から中山間部、海岸部にわたる多様で豊かな環境のもと、特色ある地域づくりを推し進めてきました。

このような地域の優れた特性を次世代に継承し、誇りと愛着を持って暮らしていけるまちを創るため、市民によるコミュニティ活動のさらなる推進とその担い手の育成をめざし、鶴岡地域にとどまらず市全体の地域振興の方向性として、「まちづくり」、「ひとづくり」の取組を進めます。

○施策の方向

ア 未来を見すえた住民主体のまちづくりの推進

住民が主体となった「地域ビジョン」の策定を支援し、多様で複雑な課題を持つ市街地部及び郊外地部それぞれの地域の実情に対応しながら、地域の特性を最大限に発揮できるような課題解決力のあるコミュニティの構築に努めます。

また、鶴岡地域が、城下町としての面影や歴史的風情を保ちつつ、医療、福祉、商業、学術などの都市機能が集積され、地域の活力を維持する中心的な役割を果たすなかで、人が集まりやすい立地の特性を活かし、様々な人々が集い交わる場を創ります。

こうした、多様な交流から新たな価値を生み出し、地域を元気にしていく芽を育て、未来を見すえた住民主体のまちづくりを推進します。

イ 地域の明日を担う人材の確保・育成

地域がその特性を踏まえて自ら考え、地域づくりに取り組んでいけるよう、若者がいきいきと活躍できる環境を整え、多様な学びの場を創出します。

また、自然、歴史、文化など特色ある地域資源を活用した地域づくり活動を支援し、地域の明日を担う人材の育成を図ります。

○実施事業

地域振興の基本方針の位置付け	未来を見すえた住民主体のまちづくりの推進 地域の明日を担う人材の確保・育成					
プロジェクト名	鶴岡地域まちづくり未来事業					
プロジェクトの目的	地域が有する人材、歴史・文化、産業、自然環境などの資源を活かしながら、住民自らが主体的に取り組むまちづくりを支援し、地域の活性化を図る					
プロジェクトの概要	<p>鶴岡地域の広域コミュニティ組織(21地区のコミュニティセンター単位)が計画したプロジェクトに位置づけた次の事業について、計画年次に従い、各地区より市に対し事業毎に事業提案を行い、庁内関係課からの意見を添えて、外部有識者を含む審査会において審査する。審査会において採択された事業について補助金を交付する。</p> <p>また、まちづくり未来事業に取り組む各地区の事例紹介などを通じ、地域のまちづくりを考える研修会を開催する。</p> <p>(1)自然、歴史、文化などの地域特性を活用し、まちづくりに取り組む事業 (2)安全、安心に暮らせる地域にするために取り組む事業 (3)地域の活性化や人材育成に取り組む事業 (4)その他市長が必要と認める事業</p>					
期待できる効果	地域の特性を活かした地域振興やまちづくり活動の活性化が図られる					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	鶴岡地域まちづくり未来事業	○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		4,967			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		20,161			

(2) 藤島地域

○地域の基本方針

藤島地域は、多くの農業関係機関・団体などが集積し、先進的な農業に取り組む意欲的な農家が多く、特に稲作においては、庄内地方の農業の中心的役割を担ってきた地域です。このような地域特性を生かしながら、今後も重要な食糧生産地の一翼を担い、また、安全で良質な、「人と環境にやさしい農業」を実践する地域であることを強みに、農業を核とした地域づくりを推進します。

これまで築き上げてきた豊かな田園文化を継承しつつ、稲作に新たな園芸作物などを取り入れた複合的農業経営への転換を図り、農家の所得向上をめざした取組を行います。

藤島地域がこれまでまちづくりに活用してきた「ふじ」や伝統芸能である「獅子踊り」など、地域が育んできた貴重な歴史と文化を次世代にしっかりと継承していく取組を進めます。また、藤島歴史公園「Hisu 花（ヒスカ）」を新たな資源として活用し、市内外の交流の拡大を図ります。

依然として進む少子高齢化に伴う人口減少を見据え、地域内の生活基盤を再構築する取組や高齢者がいきいきと暮らせる仕組みづくり、地域特性に即した防災力の強化など、住民が安心して生活し、暮らしやすさを実感できる施策を展開します。

○施策の方向

ア 豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現

「人と環境にやさしい農業」の取組を継続し、安全・安心な農産物の生産拡大と消費者交流の推進及び農家間の連携強化並びに新技術実証、地産地消の取組を進めます。また、稲作を基幹としながら園芸作物の生産拡大を図り、農家所得の向上をめざすプロジェクトを展開します。農業が縁となり、これまで築きあげてきた首都圏大学との連携や優れた人材を輩出し、地域の農業を支えてきた庄内農業高等学校などの教育機関との連携を強化します。

- ①藤島発！！鶴岡の米プロジェクト
- ②藤島発！！園芸作物拡大プロジェクト
- ③食農教育等を通じたふるさと意識の醸成
- ④庄内農業高等学校・首都圏大学との地域連携の推進

イ 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進

藤島地域を象徴する「ふじ」と獅子踊りなどの「伝統芸能」は、今後も重要なまちづくりの資源と捉え、地域に活力を生み、住民が誇りと愛着を帯び、地域づくりにつなげていくとともに、地域内外にその魅力を発信し、交流

人口の拡大と賑わい創出を図ります。また、ふじのまちのシンボル施設として整備した藤島歴史公園「Hisu 花」と隣接する東田川文化記念館を活用した地域づくりの推進やそれに関わるボランティアの育成などに取り組みます。地域の資源や特性を生かした取組を一層発展させながら、多様な人々の関わりによる歴史と文化、交流が彩るまちづくりを推進します。

- ①藤島歴史公園「Hisu 花」を活用した藤島地域の魅力発信
- ②住民協働による藤棚等の適正な維持管理の推進
- ③伝統芸能の育成と地域コミュニティづくり
- ④ふじの花による観光振興の促進

ウ 暮らしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築

この地域に住みたいと思えるような、暮らしやすさを実感できる生活基盤の再構築に向けて、子育て世代から選ばれる地域をめざした効果的な支援策等の充実を図ります。

地域公共交通のあり方など高齢者が社会参加しやすく、いきいきと充実した生活を送れるような仕組みを地域と協働で検討していきます。

- ①自立分散型インフラ整備の推進
- ②子育て世代から選ばれるための支援の充実
- ③健康でいきいきと暮らせるしくみづくり

○ 実施事業

地域振興の基本方針の位置付け	豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現							
プロジェクト名	藤島発！！鶴岡の米プロジェクト							
プロジェクトの目的	藤島地域の経済基盤である水田を維持するとともに、消費者との関係強化を図り、作る人と食べる人が相互に支え合い、顔の見える農業を推進する。 また、有機栽培を総合的にマネジメントできる有機農業エンジニアを育成し、品質及び所得の向上を図る。							
プロジェクトの概要	人と環境にやさしい農業の取組を継続し、安全・安心な農産物の生産拡大と首都圏消費者との交流促進及び農家間の連携強化並びに新技術実証を図る。 (1)作る人食べる人双方で支える地域農業 (2)JAS 有機農産物・特別栽培農産物の拡大 (3)安全な農業経営体の育成							
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者と農業関係機関が一体となった農業振興を図り、情報共有や研修会の実施により地域農業が活性化し後継者の育成が図られる。 ・認証制度を活用することにより生産品の均一化が図られるとともに、販路が拡大し稲作農家のやる気の喚起と高品質米を生産する意識の醸成が図られる。 ・高齢化や農家の減少による大規模化に対応した低コスト化・省力化技術等を活用するとともに、技術を活用できる環境を整備することで農家所得の向上が図られる。 ・技術者の育成により個々の有機農業者のレベルが向上し労力の軽減と品質の向上が図られる。 							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2023	2024	2025	2026以降
	(1)	藤島地域人と環境にやさしい農業推進事業			○	○	○	○
	(2)	藤島農産物元気事業			○	○	○	○
	(3)	藤島地域農の魅力拡大事業			○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)				3,548			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)				5,774			

地域振興の基本方針の位置付け	豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現					
プロジェクト名	藤島発！！園芸作物拡大プロジェクト					
プロジェクトの概要	<p>枝豆などの土地利用型作物を振興して水田における複合経営を推進し、稲作単作からの脱却を図るとともに地場農産物を原料とした加工特産品の開発を行う。</p> <p>さらには地域内の産直施設と連携し、生産者と消費者が互いに顔の見える環境を構築し、地場産農産物を中心とした賑わいの創出と地域の活性化を図る。</p>					
プロジェクトの概要	<p>稲作を基幹としながら園芸作物の生産拡大を図り農家所得の向上をめざす。</p> <p>(1)土地利用型園芸作物の生産振興 (2)農産物の加工推進 (3)産直等の活用</p>					
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・複合経営により農家所得の向上が図られる。 ・品質向上によりブランド化が図られる。 ・栽培技術向上により所得向上が図られる。 ・水田畑地化技術の実証及び作業体系の確立により作付け面積の拡大が見込まれる。 ・エコタウンセンターの来場者数の増加により賑わい創出と地域活性化が図られる。 ・地産地消率の向上が図られる。 					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	藤島地域人と環境にやさしい農業推進事業(再掲)	○	○	○	○
	(2)	藤島農産物元気事業(再掲)	○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		1,828 千円			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		2,830 千円			

地域振興の基本方針の位置付け	豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現							
プロジェクト名	食農教育等を通じたふるさと意識の醸成							
プロジェクトの目的	「人と環境にやさしい農業」により生み出される農作物の重要性を、食農教育や農業体験学習を通して子ども達に伝え、子どもたちが農業の未来に関心を持ち、魅力を感じ、地域への誇りと愛着を育む。							
プロジェクトの概要	<p>学校給食へ新鮮な地元農産物を供給する団体を支援し、地産地消率の向上を図る。</p> <p>(1)次代を担う子どもたちの食農教育を通じたふるさと意識の醸成 (2)水田による環境保全機能の学習 (3)地産地消の推進</p>							
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な農作物を生産する大切さと地域農業の重要性を学べる。 ・ふるさと意識の醸成が図られる。 ・野菜の地産地消率の向上と農家の安定経営が図られる。 							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2023	2024	2025	2026以降
	(1)	藤島地域人と環境にやさしい農業推進事業(再掲)	○	○	○	○		
		藤島地域田んぼの生き物調査事業【人と環境にやさしい農業推進事業へ統合】						
		藤島地域地産地消推進事業【人と環境にやさしい農業推進事業へ統合】						
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		117					
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		956					

地域振興の基本方針の位置付け	豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現					
プロジェクト名	庄内農業高等学校・首都圏大学と地域との連携推進					
プロジェクトの目的	<p>庄内農業高等学校と地域、関係団体などが連携し、将来、地域を担う人材育成を支援するとともに、同校卒業後の地元定着を図る。</p> <p>また、藤島地域と関わりのある首都圏大学との地域連携も継続し、首都圏での農産物 PR 等を足がかりに、首都圏交流の拡大と地域の賑わいを創出する。</p>					
プロジェクトの概要	<p>庄内農業高等学校と地域、農業関連団体などが連携して、魅力ある学校づくりを支援する。また、大東文化大学との連携により農産物の PR などを行い、地域と首都圏の交流を推進する。</p> <p>(1) 庄内農業高等学校との地域連携の推進 (2) 首都圏大学との地域連携の推進</p>					
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地元に着し地域を担う人材育成に繋がる。 ・地域おこしに繋がる商品化研究や他校とのコラボ商品開発など、実業校ならではのユニークな取り組みが活発化する。 ・志望する学生増加に繋がる。 ・首都圏の学生が住民や農村との交流を行うことで地域の活発化が図られる。 ・首都圏の学生が SNS 等で情報を発信することで本地域の知名度が向上し観光人口や移住者数の増加が見込まれる。 					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	庄内農業高等学校地域連携事業	○	○	○	○
	(2)	藤島地域農の魅力拡大事業(再掲)	○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		2,720			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		3,944			

地域振興の基本方針の位置付け	歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくり							
プロジェクト名	藤島歴史公園「Hisu 花」を活用した藤島地域の魅力発信							
プロジェクトの目的	<p>藤島歴史公園「Hisu 花」をテーマ性のある地域資源として捉え、ふじの魅力を体感、発信できる多様な活用を図りながら、多くの方が訪れる賑わいある公園づくりとそこから発展する地域づくりを推進する。</p> <p>また、公園内の東田川文化記念館においても地域の歴史と文化を発信するとともに、藤島歴史公園「Hisu 花」と連動した文化活動、農業や伝統芸能、わら文化など、地域の情報発信拠点として、相互の有効活用を図る。</p>							
プロジェクトの概要	<p>東田川文化記念館を含む藤島歴史公園「Hisu 花」から始まる地域づくりとして、市民が公園づくりや活用を検討できる場を創出し、誘客につながる公園の環境整備を推進する。</p> <p>また、オフシーズンのイルミネーションの点灯や住民参加の花壇整備などを行い魅力発信に努める。</p> <p>(1)ふじの花のライトアップとイルミネーション等による魅力発信 (2)藤島歴史公園「Hisu 花」から始まる地域づくり (3)東田川文化記念館の魅力再発見と活用 (4)藤島歴史公園の利用、誘客につながる環境の整備</p>							
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ性のある観光資源として誘客が図られる。 ・マルシェやイベント開催など、公園の魅力創出と活用が促進される。 ・藤島歴史公園「Hisu 花」を拠点とした、多様な人々による活動が促進される。 ・公園の活用と、活動を通じた地域づくりに関わる人と、関わり方の構築が図られる。 ・他の地域資源活用など地域全体の活性化へと波及することが期待できる。 ・シビックプライドを醸成する新たな活動の展開が期待できる。 ・施設を核とした藤島歴史公園の活用を図ることで、交流の拡大にもつながる。 ・各種イベントの人の動きの増加により、物産販売やサービスが伸長し、経済活動が活性化する。 							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2023	2024	2025	2026以降
	(1)	藤島歴史公園「Hisu花」魅力発信事業	○	○	○	○		
	(2)	藤島歴史公園「Hisu花」から始まる地域づくり事業	○	○	○	○		
	(3)	東田川文化記念館利活用事業	○	○	○	○		
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		3,686					
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		5,540					

地域振興の基本方針の位置付け	歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくり					
プロジェクト名	住民協働による藤棚等の適正な維持管理の推進					
プロジェクトの目的	市民の主体性をまちづくりに生かし、公共施設の藤棚や歴史公園、町内会表示板などの適正な維持管理について、地域住民、ボランティア、各種団体、行政などが協働で取り組むパートナーシップの構築を図る。					
プロジェクトの概要	ふじのまちにふさわしい藤棚等の適正な維持管理を推進するため、地域住民、ボランティアなどの住民の主体性を生かした取組や活動を支援する。また、ふじのまちにふさわしい藤棚等の維持管理に努める。 (1)ふじの管理ボランティア団体等の育成支援 (2)ふじのまちにふさわしい藤棚等の維持管理の推進					
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじの普及や管理に携わるプロフェッショナルの育成が図られる。 ・ふじのまちづくりにふさわしい環境整備が図られる。 					
実施スケジュール		具体的な事業項目	2023	2024	2025	2026以降
	(1)	藤島花咲かせ活動支援事業【ふじ管理エキスパート養成支援事業から名称変更】	○	○	○	○
	(2)	藤棚の整備事業	○	○	○	○
	(3)	ふじの里づくり事業	○	○	○	○
	(4)	ふじのまちかど整備事業	○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		6,781			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		7,952			

地域振興の基本方針の位置付け	歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくり							
プロジェクト名	伝統芸能の育成と地域コミュニティづくり							
プロジェクトの目的	「伝統芸能」は、今後も重要なまちづくりの資源と捉え、地域に活力を生み、住民が誇りと愛着を持てる地域づくりにつなげていくとともに、地域内外にその魅力を発信し、交流人口の拡大と賑わい創出、継承意識の向上を図る。							
プロジェクトの概要	鶴岡市内各地に残る伝統芸能を集めて鶴岡伝統芸能祭を開催し、伝統芸能の持つ魅力を伝えながら獅子の里「藤島」を発信する。また、伝統芸能とともに里山に存する自然、文化遺産の保存伝承にも取り組む。 (1) 鶴岡伝統芸能祭の開催 (2) 里山資源を活用したコミュニティ活動の活性化							
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域外から大勢の誘客を図ることができ、地域活性化に繋げることが出来る。 ・大勢の観客の前で郷土芸能を披露する「場」を提供することで、出演者の誇りややりがいにつながる。 ・伝統芸能団体間の交流・研鑽の機会をつくることができる。 ・地域コミュニティの活性化や次世代への自然、文化遺産の伝承につながる。 							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2023	2024	2025	2026以降
	(1)	鶴岡伝統芸能祭開催事業			○	○	○	○
	(2)	藤島地域里山整備活性化事業			○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)				535			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)				890			

地域振興の基本方針の位置付け	歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくり					
プロジェクト名	ふじの花による観光振興の促進					
プロジェクトの目的	ふじの花の魅力を地域内外に発信する一大イベントとして「ふじの花まつり」を開催するとともに、ふじの花を楽しむ来訪者の満足度を高め、翌年の再来訪を期待させるものとして、地元特産品を活用したお土産品やグッズ、キャラクター等の開発を行い、ふじをテーマとした観光振興を図る。					
プロジェクトの概要	ふじに親しみを持って訪れる観光客等が気軽に購入でき、性別を問わず幅広い層から喜んでもらえる地域特産品を活用したお土産品やグッズ等の開発を行う。 (1) 地元特産品を活用したお土産品等の開発					
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふじの花」による観光振興が図られる。 ・地域住民が誇りと愛着を持てる活力ある産業づくり、人づくり、地域づくりが促進される。 ・新たなビジネスモデルの構築が図られる。 					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	藤島地域お土産品開発事業【休止】				
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		0			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		0			

地域振興の基本方針の位置付け	くらしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築							
プロジェクト名	自立分散型インフラ整備の推進							
プロジェクトの目的	依然として進む少子高齢化に伴う人口減少を見据え、地域内の生活基盤の再構築を図り、暮らしやすさを実感できる自立分散型のインフラを整備する。							
プロジェクトの概要	<p>地域公共交通のあり方や宅地供給の支援など地域のニーズを反映した仕組づくりを検討し、魅力ある定住地としての環境づくりを図る。</p> <p>(1) 定住を支援する住環境等の整備 (2) 公共交通空白地域の解消</p>							
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地分譲事業を市街化区域内に固定してきた弊害が解消できる ・各小学校区への住宅供給を行うことで、人口減少対策となり、地域の自立を促せる ・公共交通空白地域を解消でき、交通弱者の外出機会創出につながる。 ・藤島地域全体の効率的な公共交通網を構築することで、無駄のない輸送と住民の利便性が向上する。 							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2023	2024	2025	2026以降
	(1)	定住支援住環境等整備事業【休止】						
	(2)	長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業			○	○	○	○
	(3)	藤島地域公共交通調査事業			○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)				2,922			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)				4,045			

地域振興の基本方針の位置付け	くらしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築					
プロジェクト名	子育て世代から選ばれるための支援の充実					
プロジェクトの目的	若者世代がこの地域に住みたいと思えるような地域を目指した子育て環境の充実を図る。					
プロジェクトの概要	ぽっぽの湯を活用した子育てニーズに対応する効果的な支援策の実施と小中学校や児童館、保育園などの老朽化施設を含む「文厚エリア」全体の整備検討を進める。 (1)「子育て世代応援地域」の実現 (2)子育て支援施設・体制整備の検討					
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代向けの取組によるぽっぽの湯の入浴者数増加。 ・子育て世代の交流促進。 ・少子化の進展を見据えた効率的な施設整備が図られる。 ・老朽化、遊休施設の解消が図られる。 					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	長沼温泉ぽっぽの湯活性化事業	○	○	○	○
	(2)	藤島地域文厚エリア検討事業	○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		520			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		1,041			

地域振興の基本方針の位置付け	くらしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築					
プロジェクト名	健康でいきいきと暮らせるしくみづくり					
プロジェクトの目的	高齢者が社会参加しやすく、いきいきと充実した生活を送れるような仕組みを地域と協働で進めるとともに、高齢者等が生きがいを持って暮らし続けられるよう、社会参加の促進や買物弱者対策を進める。					
プロジェクトの概要	高齢者の社会的孤立を防ぐため、地域や関係団体と連携し、外出支援事業を実施する。 (1)高齢者の社会参加の促進					
期待できる効果	・高齢者の外出機会の創出と社会参画の促進が図られる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業(再掲)	○	○	○	○
	(2)	藤島地域公共交通調査事業(再掲)	○	○	○	○
	(3)	長沼温泉ぽっぽの湯活性化事業(再掲)	○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		3,442			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		4,675			

(3) 羽黒地域

○地域の基本方針

羽黒地域は、出羽三山とその門前町、史跡松ヶ岡開墾場、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで高い評価を得た羽黒山杉並木や国宝五重塔など、歴史的な観光資源に恵まれた地域です。

少子高齢化や人口減少が進む中でも、地域資源を活用し、活力にあふれる地域づくりを進めていきます。

観光面では、羽黒地域の歴史文化を広く発信し、国内旅行者のみならず、インバウンドにより海外から訪れる旅行者にも羽黒らしい自然や歴史に触れる空間を提供できる観光地づくりに取り組みます。農業面では、特に中山間地域の特産物である園芸作物の振興と土づくりの推進により付加価値を高めます。また、月山高原エリアでは、既存施設を活用して、人が集い、自然の中で交流が生まれる場所づくりに取り組みます。地域づくりでは、住民が安心して暮らすことができるように、住民主体の活動を支援するとともに、防災対策や生活の足の確保などの地域課題の解決に向けて行政と地域が連携して取り組みます。

○施策の方向

ア 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進

手向門前町の修景整備や出羽三山精進料理の魅力発信など門前町としての魅力向上のための取組を推進します。また、松ヶ岡開墾場については、蚕室などの歴史や魅力を発信する拠点としての保存や活用の整備を進めるとともに、松ヶ岡地域への支援を継続します。こうした取組に加え、インバウンドなどに対応するため、老朽化した既存観光施設の再整備を図るとともに、映画を活用した誘客、観光施設の連携による周遊型の観光誘客施策の強化を図ります。

- ①出羽三山・修験の里再生による歴史文化の継承と発信
- ②松ヶ岡開墾場の歴史的環境の保存・活用による地域活性化
- ③映画ロケ支援等観光連携による周遊・滞在型観光誘客の強化

イ 地域の特色を生かし価値を高める農業の推進

羽黒地域の特産物である庄内柿やアスパラガスなどの園芸作物について、高品質な農産物の生産体制の確立、新品種導入や新たな栽培技術の導入を支援し、土づくりなどによる付加価値の向上による産地のブランド化を図ります。月山高原エリアの既存施設については、地域の生産者や民間による有効活用を図り、交流人口の拡大、地域の活性化を図ります。

- ①月山高原エリアの交流人口の拡大による地域活性化と農業振興
- ②園芸作物の産地強化による振興

ウ 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進

防災、福祉その他の地域課題に対して、自治振興会と連携した市民との協働による取組を進めます。また、住民活動の拠点施設である地域活動センターの計画的な整備、修繕などを図り、子育て世代や高齢者のほか、全ての世代が利用しやすい施設づくりに取り組めます。

高齢者などの交通弱者に対しては、交通手段の確保と充実に取り組めます。

①よりよい地域づくりのためのコミュニティ活動支援

②市営バス運行の充実による移動手段の確保

○実施事業

地域振興の基本方針の位置付け	人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進							
プロジェクト名	出羽三山・修験の里再生による歴史文化の継承と発信							
プロジェクトの目的	歴史的景観の保全と歴史的背景を持つ地域活動の維持継承、伝統的建築や固有の食文化など有形無形の歴史的文化的資産の保全継承とともに、それらを活用して交流人口の拡大を図る。							
プロジェクトの概要	<p>手向門前町のまちなみ修景整備や、地域住民によるまちづくりビジョンの策定や地域活性化のための主体的な取組を支援するとともに、出羽三山の歴史文化にかかる伝統行事や信仰、生活の中で育まれた固有の食文化などの魅力を広く発信する。</p> <p>(1) 歴史文化の継承と発信 (2) 出羽三山と門前町の魅力を伝える環境づくり (3) まちなみ景観保全修景整備と道路等修景整備 (4) 出羽三山精進料理の魅力発信</p>							
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・手向門前町のイメージの向上と観光客集客による地域活性化 ・手向信仰文化の独自性や魅力、誇りのもてる地域であることの再認識 ・地域資源を活用した取組の促進 							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2023	2024	2025	2026以降
	(1)	門前町歴史まちづくり推進事業	○	○				
	(2)	いでは文化記念館環境整備事業						
	(3)	大鳥居周辺花いっぱい事業	○	○	○	○		
	(4)	門前町手向花いっぱい事業						
	(5)	フリーWi-Fi 整備事業						
	(6)	出羽三山精進料理魅力発信事業	○	○	○	○		
	(7)	羽黒山スギ並木保全計画策定事業	○	○				
	(8)	月山卯年御縁年誘客対策事業	○					
	(9)	やまぶし温泉ゆぽか活性化事業 【市「やまぶし温泉管理運営事業」へ移行】						
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		6,876					
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		11,952					

地域振興の基本方針の位置付け	人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進					
プロジェクト名	松ヶ岡開墾場の歴史的環境の保存・活用による地域活性化					
プロジェクトの目的	松ヶ岡開墾場の歴史的価値や景観等を保存するとともに、開墾場や地域の魅力を発信し、地域活性化に繋げる。					
プロジェクトの概要	<p>「松ヶ岡地域振興ビジョン」に基づく地域の魅力を向上させるための取組を支援する。</p> <p>(1) 松ヶ岡開墾場を活用した地域活動への支援</p> <p>(2) 松ヶ岡開墾場の安全性・利便性向上のための周辺環境の整備</p>					
期待できる効果	地域イメージの向上と観光客集客による地域活性化、地域住民の利便性の向上					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	松ヶ岡開墾場周辺環境整備事業				
	(2)	松ヶ岡魅力創出支援事業	○	○	○	○
		松ヶ岡地域振興ビジョン推進支援事業 (松ヶ岡開墾 150 年記念事業)【完了】				
	2022(令和 4)年度決算見込み額(千円)		400			
	2023(令和 5)年度当初予算額(千円)		800			

地域振興の基本方針の位置付け	人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進					
プロジェクト名	映画ロケ支援等観光連携による周遊・滞在型観光誘客の強化					
プロジェクトの目的	映画を活用した誘客の推進を図るとともに、出羽三山や映画ロケ地を訪れる観光客を羽黒地域全体で取り込み、交流人口の拡大を図る。					
プロジェクトの概要	<p>民間企業による映画ロケ誘致や映画を活用した誘客事業に支援を行うとともに、観光施設の連携による観光情報の発信や観光周遊ルートの設定などにより、羽黒山等の観光客を他の観光施設等にも誘客する。</p> <p>(1)映画ロケ誘致等への支援 (2)既存観光施設間の連携による周遊・滞在型観光の推進</p>					
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・映画撮影等による宿泊、飲食、関連業務などの経済効果 ・シーズン営業や小規模で立ち寄りが少ない観光地・施設等における誘客の拡大 					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	映画ロケ等支援事業補助金	○	○	○	○
	(2)	月山高原エリア活性化事業	○	○	○	○
	(3)	羽黒山スキー場活性化事業				
	(4)	羽黒地域観光案内看板整備事業【市「観光一般事業」に移行】				
	(5)	羽黒地区スキー大会支援事業【市「羽黒山スキー場管理運営事業」に移行】				
	2021(令和3)年度決算見込み額(千円)		4,872			
	2022(令和4)年度当初予算額(千円)		3,181			

地域振興の基本方針の位置付け	地域の特色を生かし価値を高める農業の推進						
プロジェクト名	月山高原エリアの交流人口の拡大による地域活性化と農業振興						
プロジェクトの目的	羽黒山や月山、庄内オープンセットの間にある月山高原の地理性を活かし、公共施設である月山高原ハーモニーパークを中心に中山間地農業と観光を結び付け、地域活性化と農業振興を図る。						
プロジェクトの概要	<p>近隣のひまわり畑は夏季の観光スポットになっている一方、月山ハーモニーパークの老朽化により施設が活かされず、交流の拠点となっていない状況であることから、相乗効果が生まれるように施設内の遊具やふれあいハウスなどの施設を再整備し、人が集まり利用しやすい環境を整える。</p> <p>(1)月山高原ハーモニーパークの再整備と活用</p>						
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり畑との相乗効果による月山高原エリアへの集客と中山間農業の活性化 ・ふれあいハウスでの営業に伴う地元産農産物の販売拡大 						
実施スケジュール	具体的な事業項目			2023	2024	2025	2026以降
	(1)	月山高原ハーモニーパーク整備事業					
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)			0			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)			0			

地域振興の基本方針の位置付け	地域の特色を生かし価値を高める農業の推進					
プロジェクト名	園芸作物の産地強化による振興					
プロジェクトの目的	羽黒地域の特産物である庄内柿やアスパラガスなどの園芸作物について、ブランド化や農業産出額の増加、産地としての維持拡大を図る。					
プロジェクトの概要	園芸作物について、新規・更新の植栽支援、耕畜連携した土づくり等を推進するとともに、販売促進のための取組に支援を行う。 (1) 特色を生かした園芸作物の生産振興 (2) 園芸作物等の販売促進への支援					
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産品であるアスパラガスの生産の維持拡大 ・園芸作物等の地域農産物の販売額増加 ・ブルーベリーブランド力強化 					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	羽黒地域「ブルーベリーの里」づくりプロジェクト事業				
	(2)	産直施設立ち上げ・機能強化支援補助事業				
	(3)	羽黒アスパラガス生産振興事業【市「地域特産農産物振興事業」に移行】				
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		272			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		0			

地域振興の基本方針の位置付け	活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進						
プロジェクト名	よりよい地域づくりのためのコミュニティ活動支援						
プロジェクトの目的	地域の実態を踏まえ、今後地域のあるべき姿を多くの地域住民の中で共有し、将来を見据えた持続可能な地域コミュニティ構築を推進する。						
プロジェクトの概要	<p>防災・福祉等の地域課題に対して、自治振興会と連携した市民との協働による取組を進める。</p> <p>(1) 地区自治振興会を核とした活動の推進</p> <p>(2) 地域活動センターを地域住民の積極的な活動の場となるように必要な整備を行ない、環境を整える。</p>						
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決と市民と行政の信頼関係の構築 ・持続可能な住民主体のまちづくり 						
実施スケジュール	具体的な事業項目			2023	2024	2025	2026以降
	(1)	手向地区地域通貨導入チャレンジ支援事業		○			
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)			300			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)			300			

(4) 櫛引地域

○地域の基本方針

櫛引地域は、本市を代表する果樹の生産地であり、黒川能をはじめとする伝統芸能や、丸岡城跡及び加藤清正墓碑などの歴史遺産が数多く残る地域です。さらには、中央を南北に貫流する赤川や庄内が一望できる中山間地などの豊富な地域資源を有しています。これらの特性を活かすことで、地域内外のたくさんの人々が集い交流する賑わいの創出と、ここに住む人が将来にわたって物心ともに豊かに暮らせる活力ある地域づくりをめざします。

櫛引の果樹生産の特徴である多品種少量生産と、観光果樹園や産直などの先進的な取組を活かし、「フルーツの里」としてのブランド力強化と、果樹を含めた農業全体の所得の向上を目指して産地の強化を図ります。また、農業体験や自然体験の環境整備を進めることで都市部との交流人口の拡大を図り、地域を越えて連携する広域の観光周遊の仕組みづくりに取り組みます。

黒川能を始めとする貴重な伝統芸能の保存と継承を支援し、あわせて観光資源としての活用を図ります。また、「赤川かわまちづくり計画」の基、赤川周辺の施設や自然、芸術作品などを活用した憩いと賑わいの拠点づくりを進め、地域の活性化につなげます。

少子化や高齢化、人口減少などを見据え、住民の暮らしを守るための、地域コミュニティの維持活性化と、健康で安全で安心な生活が送れる仕組みづくりを進めます。

○施策の方向

ア 果樹産地の特色を生かしたフルーツの里づくり

櫛引地域の強みである果樹生産を一層振興し、観光果樹園や加工、直売の6次産業化も促進しながら、地域農業の活性化を図ります。

イ 農業自然体験に着目した都市農村交流の推進

農業体験や農家民宿、産直、観光果樹園などと、自然や歴史文化などの地域資源を活用したネットワークを形成し、交流人口の拡大を図ります。

ウ 地域を越えて連携する広域観光圏の形成

櫛引地域単独の枠組みを越えて黄金地区、朝日地域と本市南部地区の広域観光圏の形成を図ることで、羽黒山などから観光客の周遊を促す滞在型観光を組成していきます。

エ 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

黒川能や丸岡城跡など貴重な歴史文化資源と、これらを連綿と伝承してきた地域の活動を確実に保存継承しながら、さらに価値を高めていく取組を推進します。

オ コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進

地域の担い手の育成や広域コミュニティの設置を進め、集落の連携などの新たな仕組みづくりを支援します。健康増進の拠点づくりや既存の公共交通を補完する新たな地域公共交通システムの構築など、健康で安全、安心に暮らせる環境整備を進めます。

○実施事業

地域振興の基本方針の位置付け	果樹産地の特色を生かしたフルーツの里づくり					
プロジェクト名	果樹産地の特色を生かしたフルーツの里づくりプロジェクト					
プロジェクトの目的	<p>果樹担い手の育成確保と樹園地継承システムの構築、需要に応える産地づくり、「フルーツの里」としてのブランド力強化と農家所得の向上を目指して、果樹産地強化に向けた検討を行い、本市における果樹振興のモデルケースとして、効果的な事業展開を図る。</p> <p>また、観光分野との連携や積極的な情報発信とプロモーション活動により、果実の需要拡大を図る。</p>					
プロジェクトの概要	<p>(1)円滑な園地継承への支援 「くしびき果樹産地強化プラン」の策定については、既存の「鶴岡市果樹産地構造改革計画」や「第2次鶴岡市農業・農村振興計画 ※つるおかアグリプラン」と類似する計画であることから、楡引地域単独での策定は見送ることとする。なお、園地継承対策・後継者(担い手)の確保が重要課題であることをふまえ、果樹園地及び生産者情報データベースの作成による、園地継承支援体制(マッチングシステム)の構築等に向けて、果樹生産者の実態把握を行う。</p> <p>(2)フルーツの里ブランド化の推進 ・「園地継承対策・後継者(担い手)の確保」、「生産者の所得向上」、「産地PR」を事業の3本柱とし、多品種少量生産の特色を生かした「フルーツの里くしびき」のブランド化を推進する。 ・推進員を配置し、観光と連携した産地PR、SNSを活用した情報発信の強化を図る。</p> <p>(3)生産・経営に対する意識づくり 研修会・勉強会の開催 等</p>					
期待できる効果	<p>(1)栽培技術の向上→品質・単収の向上→ブランド力向上→農家所得の向上→担い手の増加→樹園地の維持・再生→産地の強化</p> <p>(2)観光果樹園入込者数及び果樹販売額の増加</p>					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	くしびきフルーツ振興プロジェクト事業	○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		3,680			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		3,679			

地域振興の基本方針の位置付け	農業自然体験に着目した都市農村交流の推進					
プロジェクト名	農業自然体験に着目した都市農村交流の推進プロジェクト					
プロジェクトの目的	<p>「櫛引たらのきだいたいスキー場」と「ほのかたらのきだいたい」の機能を見直し、それぞれの施設が年間を通して利用者の増加を図る。</p> <p>また、首都圏の修学旅行や農業体験受け入れ体制を強化することで交流人口を拡大させ、鶴岡ファンの獲得、地域農産物の販路拡大、地域農業者の収益力の向上を図る。</p>					
プロジェクトの概要	<p>(1)たらのきだいたいネイチャーパーク事業【完了】</p> <p>「櫛引たらのきだいたいスキー場」は、地域に根ざしたファミリーや初心者向けのスキー場として整備し、「ほのかたらのきだいたい」は、現有施設を活用し各種団体と連携しながら利用者の増加を図る。</p> <p>(2)櫛引地域都市農村交流促進事業</p> <p>JA 青年部・黒川能の里の会への活動支援</p>					
期待できる効果	<p>(1)「櫛引たらのきだいたいスキー場」と「ほのかたらのきだいたい」の年間を通しての利用者数の増加</p> <p>(2)交流人口の拡大・鶴岡ファンの獲得・地域農産物の販路拡大・地域農業者の収益力の向上</p>					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	櫛引地域都市農村交流促進事業	○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		149			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		174			

地域振興の基本方針の位置付け	地域を越えて連携する広域観光圏の形成					
プロジェクト名	地域を越えて連携する広域観光圏の形成プロジェクト					
プロジェクトの目的	市南部エリア(櫛引・朝日・黄金)として連携のもと、各種の観光資源等の周遊ルートの設定により地域の魅力発信に努めるとともに、県内外のマイカーやレンタカーによる来訪者の増加に結びつける。					
プロジェクトの概要	(1)市南部エリアの観光協会の連携のもと、観光資源の抽出と周遊ルートの設定。 (2)マイカー・レンタカーなど車によるマイクロツーリズムの推進と県内外からの来訪者の拡大のためのエリア情報の発信。					
期待できる効果	櫛引・朝日・黄金地域の観光等施設の利用者増					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	鶴岡市南部エリア観光周遊ルート魅力発信事業	○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		0			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		0			

地域振興の基本方針の位置付け	黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用					
プロジェクト名	貴重な歴史文化の継承と活用プロジェクト					
プロジェクトの目的	黒川能・丸岡城跡・綴れ織りなどの貴重な歴史文化を保存伝承していくため、地域全体でその価値を共有し、時代の変化に合った伝承の方策を探りながら新たな地域活動へつなげていく。また、歴史文化の資源や遺産を活用し慣れ親しむ場を積極的に提供することで、保存伝承活動への理解促進と地域の活性化を図る。					
プロジェクトの概要	(1)黒川能アーカイブ事業【完了】 音源・映像のデジタル化、ライブラリー化(貸出) (2)黒川能保存伝承支援事業 保存伝承研究会の開催、後継者育成、体験用装束等の整備、保存会運営支援など (3)能楽青年交流事業 大学等能楽サークルの合宿招致、地元との交流、農業体験 (4)丸岡城跡環境整備事業【完了】 大型バス等に対応した駐車場の整備 (5)櫛引綴れ織り文化保存事業【完了】 故遠藤虚籟の顕彰、櫛引綴れ織りの情報発信 (6)櫛引地域歴史文化施設ガイダンス整備事業 王祇会館および丸岡城跡史跡公園の施設案内表示や周辺環境の整備、英語版パンフレット作成、案内のデジタル化					
期待できる効果	(1)黒川能や丸岡城跡等への関心・理解の深まり、人的交流の広がり、伝承気運の高まり、地域の活性化、地元への愛着・誇りの醸成、保存・管理団体等の安定的運営 (2)故遠藤虚籟の顕彰と櫛引綴れ織りの情報発信等を通じた伝統工法の継承、地域の活性化 (3)施設案内や周辺環境の整備による観光客へのサービス性の向上、インバウンド観光客への対応、ガイドの会会員の負担軽減および担い手確保					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	黒川能保存伝承支援事業	○	○	○	○
	(2)	能楽青年交流事業	○	○	○	○
	(3)	櫛引地域歴史文化施設ガイダンス整備事業	○	○	○	
		櫛引綴れ織り文化保存事業【完了】				
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		4,746			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		3,268			

地域振興の基本方針の位置付け	コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進							
プロジェクト名	協働のまちづくりと地域の賑わい創出プロジェクト							
プロジェクトの目的	将来の地域づくりのリーダーを育成する取組や住民によるイベントや活動等を支援し、協働のまちづくりと地域のにぎわい創出に取り組む。							
プロジェクトの概要	<p>(1)くしびき若者未来創造事業 研修会やグループ討議、提案事業の実施を通し、地域のまちづくりを牽引していけるような人材の育成を推進し、参加者が企画から実施を担う事業を検討。</p> <p>(2)櫛引地域花いっぱい運動で環境美化推進事業 「花いっぱい運動」を、地域の特色あるまちづくりとしてさらに推進を図り、幅広い年代が参加するコミュニティ活動として位置づけながら、やすらぎと住みやすさを実感できる環境づくりを目指す。</p> <p>(3)くしびき夏のイベント推進事業 櫛引地域における夏のイベントとして黒川能野外能楽「水焰の能」、農商工観が連携した「くしびき夏まつり」などを開催し、地域の特性を生かしながら、地域の魅力を高めるとともに、交流人口の拡大による人・もの・情報の交流をなお一層推進し、地域の活性化と一体感の醸成を図る。 ※水焰の能の直接開催費は別途予算</p> <p>(4)「でわ宝」で地域おこしプロジェクト事業【完了】 地域おこし協力隊が取り組んだ地域資源を活用した事業の継承と、宝谷地区集落ビジョンのブラッシュアップを図るなど、地区住民が主体となって地域活性化に向けて実施する取組(「でわ宝」を核とした地域活性化等)を支援する。</p>							
期待できる効果	<p>(1)将来のまちづくりを担うプレイヤーや、それぞれの組織が交流し、新たなまちづくり事業の提案・実施をとおして、地域づくり参画のきっかけづくりや地域貢献に資する人材の養成、横断的なつながりへの発展が期待できる</p> <p>(2)多世代の交流によるコミュニティの再構築。環境美化の推進によるやすらぎのある住みやすいまちづくり</p> <p>(3)地域の活性化と一体感の醸成</p> <p>(4)集落ビジョンの実現による地域の活性化</p>							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2023	2024	2025	2026以降
	(1)	くしびき若者未来創造事業	○	○	○			
	(2)	櫛引地域花いっぱい運動で環境美化推進事業	○	○	○	○		
	(3)	くしびき夏のイベント推進事業	○	○	○	○		
		「でわ宝」で地域おこしプロジェクト事業【完了】						
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		1,408					
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		710					

地域振興の基本方針の位置付け	コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進					
プロジェクト名	デマンド交通・外出支援の推進プロジェクト					
プロジェクトの目的	櫛引地域で現在導入しているスクールバスへの住民混乗利用も減少している状況も踏まえ、住民の利便性と公共交通空白地帯を生まない持続可能な公共交通体系を確保するために調査事業を実施しながら、既存の公共交通を補完する新たな地域公共交通システムの整備を図る。					
プロジェクトの概要	公共交通空白地帯を解消し、高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段の確保のため、市で計画してきた公共交通再編案について、専門家による調査・検証等を実施しながら、既存の公共交通を補完する新たな地域公共交通システムの具体的手法を検討し、導入につなげる。					
期待できる効果	地域内の公共交通空白地帯が解消され、住民の利用しやすい交通環境が整う。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	櫛引地域デマンド交通導入事業	○	○		
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		2,952			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		4,213			

地域振興の基本方針の位置付け	コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進					
プロジェクト名	健康で安全・安心なまちづくりの推進プロジェクト					
プロジェクトの目的	住民だれもが安全・安心に暮らせるよう、交通安全の推進や子育て支援、健康寿命の延伸を図るための取組を推進する。					
プロジェクトの概要	<p>(1) 櫛引地域交通安全・防犯の日啓発事業【完了】 櫛引地域に根付いている毎月1日の交通安全の日啓発事業について、新たに防犯啓発の内容も加えて小旗を更新し、櫛引地域の交通安全・防犯運動の推進につなげる。</p> <p>(2) 山添校閉校後の跡地活用 山添校閉校後の跡地について、引き続き敷地及び施設全体が地域振興にも資する施設として利活用されるよう強く県へ働きかけをしていく。</p> <p>(3) 櫛引地域いきいき健康活動拠点運営への支援事業【完了】 各種講座・研修等を企画するにあたり参考となるようなメニューや申込先等をまとめたりリストを作成・配布するとともに事業実施のサポートを行うことで、地区で自主的に行っている健康維持・生きがいづくりなどの健康活動の支援を行う。 ※支援・サポートは引き続き行っていく</p>					
期待できる効果	<p>(1) 地域内での交通事故・犯罪の減少、地域住民の交通安全・防犯意識の高まりにより、安全・安心なまちづくりに寄与する。</p> <p>(2) 山添校は櫛引地域の中心地に位置しており、用途は変わっても引き続き利活用されることで良好な定住環境が維持される。</p> <p>(3) 地区単位に高齢者の活動の拠点を設置しやすくなることにより、高齢者の健康維持と併せて、介護予防や閉じこもり予防など多くの効果が期待できる。</p>					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	山添校閉校後の跡地活用	○	○	○	○
		櫛引地域いきいき健康活動拠点運営への支援事業【完了】				
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		0			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		0			

地域振興の基本方針の位置付け	コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進							
プロジェクト名	地域資源を活かした地域づくりの推進プロジェクト							
プロジェクトの目的	地域資源を効果的に活用し、魅力と賑わいある地域づくりを推進する。							
プロジェクトの概要	<p>(1) やすらぎの赤川河畔エリア活性化事業 「かわまちづくり支援制度」を活用し、赤川かわまちづくり計画に基づき、黒川橋下流の両岸を中心に下記内容を整備する。 1)遊具整備 2)レンタサイクルポート整備 3)案内看板設置 4)やすらぎ公園・馬渡川沿いの桜並木のテングス病駆除・大枝剪定・雪洞の設置</p> <p>(2)「空にかける階段」インフォメーション事業【完了】 富樫実氏(名誉市民)の「空にかける階段」作品を生涯学習センターへ展示、紹介パネル作成、QRコードから市HP紹介映像へのリンクを実施。 富樫氏の作品の貸し出し事業、生涯学習センターへの展示は継続。</p> <p>(3) 櫛引地域希少淡水魚保存事業【環境課予算へ付替え】 絶滅危惧種である希少淡水魚(イバラトミヨ)の種の保存発動を地元組織と継続していくとともに、公共施設での展示などを通じ、生態系保全や自然環境保護の意識高揚、地域コミュニティの醸成を図る。</p> <p>(4) 櫛引地域の情報発信事業(櫛引PR事業) ⇒【くしびきフルーツ振興プロジェクト事業に統合】 SNS・YouTubeを活用し、櫛引の観光情報や日常風景を発信し、観光客の増や郷土愛の醸成に繋げる。</p> <p>(5) 横綱柏戸記念館活性化事業 横綱柏戸・鏡山親方の偉業を知る地元住民や産業観光スポーツ関係団体と協働で本館の活性化策を検討し、自主的なイベント等により来館者を増加させ、地域振興や産業観光振興等を図る。</p> <p>(6) ゆ〜Town 活性化事業 新たな魅力等を付加するイメージアップ事業により、地元の温泉施設との意識をより一層地域に浸透させ、地域住民の交流拡大による地域の活性化に向けた取組を行う。</p>							
期待できる効果	<p>(1) 交流人口を増やし賑わいを創出し、地域住民の誇りと元気を醸成する。</p> <p>(2) 「空にかける階段」作品のインフォメーションブースの整備と回遊できる仕組みづくりにより、多くの来訪を誘引することで、地域活性化に繋げる。</p> <p>(3) 地域資源である希少淡水魚を後世に残し、生態系の保全に寄与する。イバラトミヨを守る会など地域ぐるみの活動により、地域コミュニティの醸成が期待できる。</p> <p>(4) 観光客の増や郷土愛の醸成に繋がる。</p> <p>(5) 地域連帯感の醸成と来館者の増加による地域の活性化が期待できる。</p> <p>(6) 利用者が増えることで、住民の交流拡大が図られ地域の活性化が期待できる。</p>							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2023	2024	2025	2026以降
	(1)	やすらぎの赤川河畔エリア活性化事業		○	○	○		

	(2)	櫛引地域希少淡水魚保存事業 【環境課予算へ付替え】				
	(3)	横綱柏戸記念館活性化事業	○	○		
	(4)	ゆ～Town 活性化事業	○	○		
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		2,043			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		880			

(5) 朝日地域

○地域の基本方針

朝日地域は豊かな森林資源に恵まれ、自然と調和した歴史と文化が育まれてきた地域です。

しかし、全国的にも有数の豪雪地帯であり、山間地という地理的条件上、平野部と比較すると厳しい住環境にあり、人口減少や少子高齢化の傾向が特に顕著となっています。

住民が住み慣れた地域で安全にいきいきと暮らしていけるよう、生活環境の整備や住民による生活基盤の維持、強化への支援など、地域の暮らしを守り支える取組を進めます。

また、これまでの農業基盤や生産技術に創意工夫を加えた農業施策や、森林資源を活用した振興方策により農地や山林の荒廃を食い止め、農林業の持続的な振興を図ります。

併せて、豊かな自然や山岳信仰など、多種多様な観光資源を組み合わせ、地域内の自然や伝統文化、食の魅力を存分に楽しめる環境を整備し、交流人口の拡大による観光振興を推進します。

○施策の方向

中山間地域の暮らしを守り、支える取組を進めます

ア 中山間地域における定住環境の支援

地域住民が、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、地域内生活交通の確保や高齢者の克雪対策支援など、生活環境の整備・支援を行います。

また、住民主体による地域の実情に応じた集落対策を推進し、共通の課題を抱える集落間をつなぐなど広域的な視点から集落間の連携による生活基盤の維持・強化を進めるとともに、持続可能な地域運営組織の育成と活動拠点の整備を進めるほか、地域課題解決に向けた住民自らの取組みを支援します。

併せて、豊かな森林資源と自然環境を活用した自然環境教育の実践や国際交流などにより、次世代を担う人材の育成を目指します。

- ①地域内生活交通の維持・確保を目指します
- ②快適で安心・安全な環境整備への支援を進めます
- ③地域を支える人材の育成を進めます

イ 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興

これまでの農業基盤や生産技術に創意・工夫を加えた農業施策を推進し、農産物の流通体系の整備、地域特産品（農産物）の生産支援、特産品の開発、既存商品のブラッシュアップ、農地保全のための仕組みづくり等を通し、中

山間地型複合経営を目指します。

また、広大な森林資源を活用するために菌茸類等の栽培技術の向上、新規生産者の育成に努め、特用林産物の販売数量の確保と資源循環を目指します。

- ①中山間地における持続的な農業体系の整備を進めます
- ②森林資源の保全と有効な活用を進めます

ウ 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興

通年型観光の拠点として湯殿山エリアを構成する多彩な観光資源を組み合わせ、誘客を図るとともに、地域にある自然や文化、食の魅力を存分に楽しめる環境づくりを通し、地域の活性化につながる観光振興を目指します。

- ①観光振興施設と観光者受入環境の整備を進めます
- ②地域の自然、文化、食の魅力の発信を進めます

○実施事業

地域振興の基本方針の位置付け	中山間地域における定住環境の支援					
プロジェクト名	地域内生活交通の維持・確保					
プロジェクトの目的	学校等の生活利便施設への交通を確保するため、地域の実情や需要に応じた、利用者の視点に立ったきめ細やかな地域内交通対策を推進する。					
プロジェクトの概要	(1)高校通学時のバス定期購入費用に自己負担上限を設け、差額を市が補助することで、保護者の経済的負担を軽減する支援を行う。 (2)地域住民の意向を反映し、需要に合わせた地域内生活交通のあり方についての調査研究に対し支援を行う。					
期待できる効果	(1)通学時に公共交通機関の利用が促進され、高校生保護者世帯の経済的・送迎に伴う時間的な負担の軽減が期待できる。 (2)住民が主体となり、住民が利用しやすい地域内交通のあり方を探ることで、地域の実情を踏まえた交通システムの維持が図られる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	朝日地域高等学校等生徒通学費支援事業	○	○	○	○
	(2)	朝日地域地域内交通調査研究事業	○	○	○	
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		1,300			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		1,750			

地域振興の基本方針の位置付け	中山間地域における定住環境の支援							
プロジェクト名	快適で安心・安全な環境整備への支援							
プロジェクトの目的	<p>雪による経済的及び精神的負担を軽減するため、除雪支援や克雪対策の取組を進め、定住環境の整備を推進する。</p> <p>また、高齢者の自立促進と健康寿命の延伸のため、近隣住民の協力や支え合いの仕組みづくり、医療機関、関連福祉団体との連携や地域資源を活用した事業等を通して、高齢者支援体制の充実を図る。</p> <p>地域住民が主体となって地域課題解決のために試行的な取組を行うことにより、中山間地域における地域運営体制の確立を図る。</p>							
プロジェクトの概要	<p>(1) 広域コミュニティ組織による高齢者世帯等自力除雪が困難な世帯の玄関前除雪に係る費用への支援を行う。</p> <p>(2) 温泉入浴を活用した介護予防・健康増進事業への支援を行う。</p> <p>(3) 持続可能な地域運営確立のための活動へ支援を行う。</p> <p>(4) 温泉を活用した事業化の実現可能性を検証するため、事業の試行(トライアル)の実施への支援を行う。</p>							
期待できる効果	<p>(1) 除排雪の労力負担により転出を余儀なくされる要支援者世帯の負担を軽減し、定住化を促す効果が期待できる。</p> <p>(2) 温泉入浴施設の活用により、介護予防事業等への参加がなかった住民のきっかけづくりとなり、高齢者の閉じこもり防止と健康寿命の延伸が期待できる。</p> <p>(3) 住民主体による活動により、生活・福祉等の環境整備が図られ、集落生活圏の持続可能な運営体制の確立が期待できる。</p> <p>(4) 本格的な事業化の実現可能性を把握することにより、朝日地域の健康福祉の増進と地域振興に資する施設としての活用促進が図られる。</p>							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2023	2024	2025	2026以降
	(1)	朝日地域助け合い玄関前除雪支援事業	○	○	○	○		
	(2)	朝日地域健康増進施設支援事業(かたくり温泉源泉活用介護予防・健康増進事業)	○	○	○	○		
	(3)	「交流の里おおあみ」づくり支援事業	○					
	(4)	朝日地域健康増進施設支援事業(かたくり温泉利活用トライアル事業)	○					
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		11,636					
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		6,720					

地域振興の基本方針の位置付け	中山間地域における定住環境の支援					
プロジェクト名	地域を支える人材の育成					
プロジェクトの目的	豊かな森林資源と自然環境を活用し、次世代を担う子供達をはじめとした市民への自然環境教育の実践を進める。また、地域の若者による交流事業等を通じた関係人口の拡大と人材育成を推進するとともに、デジタル技術を活用した地域づくりへの参画を促進する。併せて、地域情報の発信により、地域理解を深めてもらう取組を推進する。					
プロジェクトの概要	(1)タイ国「子どもの村学園」への中高生派遣事業を支援する。 (2)伝統行事、地域イベント等を紹介するカレンダーを制作する。 (3)大鳥自然の家の環境教育プログラムの開発を行う。 (4)地域の若者による地域内外との交流活動を支援する。 (5)地域課題解決のために広域コミュニティ組織が取り組む事業を支えるデジタル人材の育成等に支援を行う。					
期待できる効果	(1)これまで民間レベルでの交流を展開してきた活動に支援を行うことで、継続した派遣事業として国際交流の人的ネットワークを広げ、地域を支える人材育成の効果が期待できる。 (2)行政情報や地域行事、地域の多様な資源や魅力等を地域住民に周知することで、各種の行事や活動への理解を深め、コミュニティ活動のきっかけになることが期待できる。 (3)自然環境教育を通じた地域の自然や文化を再認識する機会とし、次世代を担う青少年の健全育成が期待できる。 (4)地域の若者が地域内外との交流事業、ワークショップを行うことにより、地域に愛着を持つ人材の育成が期待できる。 (5)デジタル人材の育成等により、インターネット上での交流の場を活用した、幅広い世代の住民による地域づくりへの参画が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	「子どもの村学園」国際交流派遣事業【市全体の国際交流の取組へ移行】				
	(2)	朝日地域情報広報事業【市全体の広報公聴の取組へ移行】				
	(3)	大鳥自然の家環境整備事業	○	○	○	○
	(4)	朝日地域若者語らいの場ありのまま未来プロジェクト事業	○	○	○	○
	(5)	朝日地域共創プロジェクト支援事業	○	○	○	
2022(令和4)年度決算見込み額(千円)			1,155			

	2023(令和 5)年度当初予算額(千円)	818
--	-----------------------	-----

地域振興の基本方針の位置付け	森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興					
プロジェクト名	中山間地における持続的な農業体系の整備					
プロジェクトの目的	地域農業の持続的な振興を図るため、醸造用ぶどう、山菜、そば等、地域内農産品の生産振興や新たな特産品開発への支援、販路拡大のための取組、将来に向けた農業者育成のための取組を推進する。また、鳥獣被害防止対策の取組を推進する。					
プロジェクトの概要	(1)地域の産直の今後のあり方について検討を行う。 (2)地域の若い農業者、農業に関心のある若者に交流、学習の場を提供する。 (3)地域の醸造用ぶどうの生産者の生産活動への支援を行う (4)朝日産そばの消費拡大による振興を行う。					
期待できる効果	(1)地域の産直の方向性を明確にすることで、生産者が安心して生産活動を行うことができ、所得向上、生きがいづくり、地域の活性化が期待できる。 (2)農業に関わる若者の語らう場、共同活動の場を提供することで、地域の農業を担う人材の仲間意識と地域への愛着の醸成が期待できる。 (3)醸造用ぶどう生産活動へ支援することで、栽培面積や生産量の維持を図り、月山ワインをはじめとする加工品の品質向上と持続的な生産が期待できる。 (4)そばの消費拡大により、生産者の所得向上が期待できる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	産直施設の在り方検討事業	○	○		
	(2)	朝日地域若者農業者支援事業	○	○		
	(3)	朝日地域山ぶどうワイン販わい支援事業【市全体の園芸作物生産支援事業(朝日地域山ぶどう生産振興事業)へ移行】				
	(4)	朝日産そば振興事業【市全体の鶴岡産農産物消費拡大事業へ移行】				
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		628			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		373			

地域振興の基本方針の位置付け	森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興					
プロジェクト名	森林資源の保全と有効な活用					
プロジェクトの目的	<p>菌茸等の特用林産物の栽培技術等の向上を進めることにより販売量の確保や生産者の育成を図り、山林の荒廃防止対策を推進する。</p> <p>また、生産・販売の維持・拡大や特産品の創出等の取組を支援・促進し、地域と資源の持続化を推進する。</p>					
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・特用林産物の栽培技術研修、集荷、移動販売などへの支援を行う。 ・地域の資源を活かした特産品の創出などの取組への支援を行う。 					
期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・生産技術向上、販売機会拡大により、生産者の所得の向上が期待できる。 ・特産品への取組により、地域ぐるみの活動の活発化、特産品の創出、生産の持続化、付加価値向上、更には地域の認知度の向上が期待できる。 					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	朝日地域山の恵み産地化事業	○	○		
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		1,301			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		1,700			

地域振興の基本方針の位置付け	自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興					
プロジェクト名	観光振興施設と観光者受入環境の整備					
プロジェクトの目的	湯殿山エリアへの通年型観光による誘客を図るため、インフォメーション機能の整備やガイド、インストラクター等の人材育成を支援する。					
プロジェクトの概要	(1)通年型観光の拠点施設として、湯殿山エリアを構成する多彩な観光資源を組み合わせ、インフォメーション機能の整備やガイド、体験型イベントのインストラクター等の人材育成を通し誘客を図るとともに、施設の更新整備を進める。 (2)湯殿山スキー場やあさひ家族キャンプ村の今後の活用方針について検討するとともに、施設の更新整備を進める。					
期待できる効果	(1)道の駅としての公益性を維持しつつ、来訪客に魅力あるイベント等を企画することにより、交流人口の拡大が期待できる。 (2)スキー・スノーボード、オートキャンプの魅力を発信し来訪客の増加を図ることで、交流人口の拡大や雇用の場の確保が期待できる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	道の駅「月山」環境整備事業		○	○	○
	(2)	あさひ自然体験交流施設維持管理事業【市全体の観光施設管理の取組に移行】				
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		309,144			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		0			

地域振興の基本方針の位置付け	自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興					
プロジェクト名	地域の自然、文化、食の魅力の発信					
プロジェクトの目的	日本遺産の構成文化財である六十里越街道や大鳥池、以東岳等の自然、また歴史が生み出した生活様式、食文化等を情報発信を図り観光資源として活用し、情報発信の推進による観光誘客と交流人口の拡大を図る。					
プロジェクトの概要	(1)大鳥池へのヒメマス放流事業へ支援を行う。 (2)観光客の交通手段を確保するため、あいのりタクシー運行事業へ支援を行う。 (3)六十里越街道の情報発信拡充と、人材育成の取組へ支援を行う。 (4)登山道の整備など登山者受け入れのための活動へ支援を行う。 (5)大鳥池キャンプ場用地を森林管理署から借受するために必要な測量を行う。					
期待できる効果	(1)水産資源の安定確保により大鳥池の魅力を高め、朝日連峰への誘客効果が期待できる。 (2)観光客の二次交通を確保することにより交流人口の拡大が期待できる。 (3)地元団体の人材育成の取組へ支援することにより保全活動やガイドとしての担い手を確保し、観光資源としての魅力高めるとともに、効果的な情報発信による入込数増加が期待できる。 (4)登山道の新設によって、イベントの実施や縦走登山者の宿泊等による地域での消費拡大が期待できる。 (5)正式な用地借受契約締結により、大鳥池キャンプ場のPR拡充及び環境整備の促進を図ることで誘客効果が期待できる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	大鳥地域淡水活性化事業【市全体の水産業振興の取組へ移行】				
	(2)	朝日地域観光あいのりタクシー運行事業	○	○	○	
	(3)	六十里越街道魅力発信事業	○	○		
	(4)	桧原二ノ俣峠越山道復元事業	○	○	○	○
	(5)	朝日地域国有林活用事業	○			
		朝日地域夏季観光バス運行事業【完了】				
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		830			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		3,163			

(6) 温海地域

○地域の基本方針

温海地域は、あつみ温泉に代表される観光資源や食文化、伝統文化、自然など多様な地域資源を有し、27 集落がそれぞれの特性を生かした活動を展開してきました。地域資源を保存し継承するだけでなく、様々に組み合わせて活用することで新たな価値を生み出し、交流人口や関係人口の拡大につなげ、地域住民がいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。

代表的な観光資源であるあつみ温泉については、温泉街の景観づくりや賑わいづくりを促進し、魅力ある温泉観光地を目指します。

日沿道の延伸を契機として、地域産業の活性化や鼠ヶ関地域への誘客とその周辺への経済効果を生み出せるような取組を進めます。

豊富な地域資源を生かした体験型観光の推進や保育園留学等の実施により、交流人口や関係人口の拡大に取り組みます。

豊かな自然や歴史が培った農林水産資源や伝統産業を継承しつつ、温海地域独自のブランドを構築し、生産者の生きがいづくりや所得の向上を図ります。

自然環境や地理的に不利な条件下でも、住民がいきいきと暮らし続けられるよう、集落の自治機能の維持と生活環境の維持向上に向けた取組を進めます。

これらの取組について、地域の自主性・自発性を尊重し支援することとし、市民・地域・行政の協調・協力により地域の総合力を発揮し持続可能な地域づくりにつなげていきます。

○施策の方向

ア あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出

あつみ温泉は、2021 年に開湯 1200 年、2022 年には酒井家庄内入部 400 年の節目の年を迎えた歴史ある温泉地です。この歴史的背景を生かしつつ、引き続き誘客による温泉街の賑わいづくりを創出します。また、温泉街の観光施設や景観、環境の整備、魅力ある店舗づくりを進め「そぞろ歩き」を楽しめる温泉街を目指します。さらに、あつみ温泉の中長期的な戦略を基に、日沿道全線開通後も通過点とならないように魅力ある温泉観光地を目指します

イ 日沿道延伸を活かした鼠ヶ関周辺地域の活性化

計画されている道路休憩施設及び既存の道の駅を活用した産業の活性化や鼠ヶ関地域の魅力向上による誘客と、周辺への経済効果をもたらす取組を進めます。併せて、庄内浜産魚介類を活用し、漁業のまち鼠ヶ関の知名度向上を図ります。

ウ 自然・歴史・文化を活かした交流人口、関係人口の拡大

豊富な自然や産業、伝統文化を活用した体験型観光や教育旅行の受入れを推進し、外国人旅行者も含めた交流人口の拡大を図ります。また、地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材を地域づくりに活かす仕組みを構築します。

エ 農林水産資源のブランド化

豊かな自然や歴史を背景とした特色ある農林水産資源や焼畑などの伝統手法を守り継承しつつ、温海地域独自のブランドを構築し、生きがいつくりや所得の向上を図ります。また、貴重な地域資源である国指定の伝統的工芸品「羽越しな布」の保存、継承を支援するとともに、製品開発や未利用資源の活用など新たな取組にもチャレンジし地域振興を図ります。

オ 次代を見据えた自治会機能とコミュニティ機能の強化

地域内の集落が有している特色ある自治機能を大切にし、それぞれの集落が将来にわたって自治機能とコミュニティ機能を維持できるように支援します。

カ 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

温海地域の自然環境や地理的条件を踏まえ、地域住民が将来にわたって暮らし続けられるよう、道路ネットワークの強化など生活環境の維持向上を図ります。さらに、豊かな自然環境を活用し、意欲や興味、粘り強さ、協調など非認知能力を高める「生きる力を育む教育」を推進し、子育て世代に選ばれる魅力のある地域を目指します。また、地域への愛着を育む取組を進め、多様な主体が連携し、高齢者が活躍する場の創出や住民同士が支えあう地域づくりを推進します。併せて、地域に有する遊休資産を活用し、地域活力の創造につなげる取組を進めます。

○実施事業

地域振興の基本方針の位置付け	あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出					
プロジェクト名	あつみ温泉街の景観整備					
プロジェクトの目的	あつみ温泉の魅力の一つである「景観」のクオリティーの向上により、官民共通目標である「そぞろ歩きの楽しい温泉街」の到達度を高める。					
プロジェクトの概要	開園から50年以上経過し老朽化が進んだ温海公園(あつみ温泉ばら園)を改修し、あつみ温泉の観光の拠点、市民の憩いの場としてリニューアルを進める。また、桜並木の植替えや「かじか通り」等の劣化した休憩施設、照明設備の改修を行い、あつみ温泉街の景観整備を進める。					
期待できる効果	景観整備により来訪動機が高まり、観光入込客の増加が期待できるとともに、地元商店街への経済効果が期待できる。					
実施スケジュール		具体的な事業項目	2023	2024	2025	2026以降
	(1)	あつみ温泉ばら園整備事業 ばら園のリニューアル【温海公園整備事業】	○	○		
		温泉街景観づくり事業 桜並木の更新、街路灯のLED化支援【完了】				
		朝市広場環境整備事業 店舗ブースの改修、足湯等の整備支援【あつみ温泉街の賑わいづくりプロジェクトに組替】				
		2022(令和4)年度決算見込み額(千円)	6,399			
		2023(令和5)年度当初予算額(千円)	51,600			

地域振興の基本方針の位置付け	あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出					
プロジェクト名	あつみ温泉街の賑わいづくり					
プロジェクトの目的	魅力ある店舗の創出や魅力ある集客イベントの開催により、あつみ温泉の集客力や知名度の向上を図る。					
プロジェクトの概要	<p>民間主導の集客効果の高いイベント開催を支援し、地域が一体となり誘客に努め、温泉観光地の知名度向上を図る。</p> <p>また、朝市広場を活用した日中の賑わいづくりや地元商店の自発的な取組並びに新規出店者への支援により、温泉街の賑わいを創出する。併せて、温泉街の魅力向上のため、ばら等の植栽を施し、そぞろ歩きの楽しい温泉街の整備に努める。</p>					
期待できる効果	<p>温泉街を周遊する観光客の増加と旅館や飲食店等への経済的波及効果に加え、地域住民のまちづくり参加意識と連帯感の醸成が期待できる。</p> <p>また、「食」に関する取組については、ユネスコ食文化創造都市としての住民意識の向上や質の高い食文化の認知度向上が期待できる。</p>					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	魅力ある店舗づくり事業 温泉街の空き店舗活用促進等	○			
	(2)	温泉街フラワー整備事業 温泉街の花等の植栽活動支援	○	○	○	○
		あつみ温泉集客イベント実施事業 記念イベント開催支援【完了】				
		朝市広場活性化推進事業 朝市広場を活用した賑わいづくりの促進【完了】				
		あつみフードPR事業 食を活かしたイベント開催支援【完了】				
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		1,012			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		0			

地域振興の基本方針の位置付け	あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出					
プロジェクト名	魅力ある温泉観光地に向けた中長期戦略の検討					
プロジェクトの目的	あつみ温泉のあるべき将来像、目指す方向性を戦略的に展望し、魅力ある温泉観光地を目指す。					
プロジェクトの概要	<p>あつみ観光協会や温海温泉旅館組合、地域住民、行政が連携し、あつみ温泉の中長期的な戦略策定を目指す。策定にあたっては、住民ワークショップやまちづくりアドバイザーの活用を図るとともに「新・湯治」も視野に入れ、官民共通認識のもと進める。</p> <p>※「新・湯治」=平成 29 年 7 月に「自然等の地域資源を活かした温泉地の活性化に関する有識者会議」により提言された、現代のライフスタイルにあった温泉地の過ごし方の提案</p>					
期待できる効果	あつみ温泉の戦略を策定し将来計画を明確にすることで、観光客のニーズに的確に対応でき、観光入込客数の増加に繋がることが期待できる。また、「新・湯治」の活用は新たな温泉の利活用が期待できる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
		あつみ温泉魅力向上事業 足湯や滞留拠点など公共施設のリフレッシュ【完了】				
		あつみ温泉観光戦略策定事業 あつみ温泉の中長期観光戦略策定に向けた官民連携の取組【完了】				
	2022(令和 4)年度決算見込み額(千円)		3,000			
	2023(令和 5)年度当初予算額(千円)		0			

地域振興の基本方針の位置付け	日沿道延伸を活かした鼠ヶ関周辺地域の活性化					
プロジェクト名	新「道の駅」を活用した地域振興					
プロジェクトの目的	計画されている新道の駅を地域産業の活性化につなげていくためのプラットフォームの構築や人材の育成を図る。					
プロジェクトの概要	新道の駅においては「海・魚」というブランドイメージの構築を図ることが不可欠であることから、鮮魚販売をイメージした実証実験により、消費者ニーズの把握や評価検証を行いながら魅力的な施設になるためのノウハウの蓄積を目指す。					
期待できる効果	地域の水産業振興に加え、農産物販売との相乗効果による集客効果が期待できる。また、事業を通じたノウハウの蓄積により関係者のスキルアップが図られる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	温海地域水産物販売実証実験事業 新道の駅における鮮魚や水産加工品販売のあり方を検証	○	○	○	
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		0			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		658			

地域振興の基本方針の位置付け	日沿道延伸を活かした鼠ヶ関周辺地域の活性化					
プロジェクト名	既存「道の駅」の有効活用に向けた検討と施設整備					
プロジェクトの目的	日沿道の延伸後において、新「道の駅」を拠点とし、既存「道の駅」も含めた鼠ヶ関周辺地域の観光まちづくりを進める。					
プロジェクトの概要	日沿道延伸後に国道7号の交通量減少が予想されることから、既存「道の駅」のあり方や有効活用策を検討し、必要に応じて施設の整備を支援する。 ※予算を伴わない事業として実施					
期待できる効果	温海地域の新たな観光目的地としての機能が期待できるとともに、施設を拠点に広域的な周遊観光が可能になる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	道の駅「あつみ」しゅりん整備事業 日沿道延伸後の施設運営のあり方検討と施設整備	○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		0			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		0			

地域振興の基本方針の位置付け	日沿道延伸を活かした鼠ヶ関周辺地域の活性化					
プロジェクト名	鼠ヶ関地内の賑わいづくり					
プロジェクトの目的	みなとオアシスの構成施設となっている弁天島周辺エリアの環境整備により、鼠ヶ関に「人」を誘導する仕組みづくりや観光地としての魅力づくりを進める。					
プロジェクトの概要	<p>専門家、有識者を招聘したワークショップ等を開催し、浜茶屋周辺施設(公衆トイレ等)の再整備や恋する灯台の活用等を検討し、まちづくりの方向性を共有します。そのうえで必要な施設整備を進める。</p> <p>※恋する灯台=埋もれていた「灯台」の文化や歴史的価値を可視化し、各地域の強力な観光資源とするために、灯台を『恋する灯台』という恋愛の聖地として認定し再価値化するプロジェクト。鼠ヶ関灯台が認定を受けた。</p>					
期待できる効果	観光入込客数の増加により、賑わい創出と地域経済の活性化が期待できる。また、ワークショップ等の開催は、地域住民の一体感の醸成につながる事が期待できる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
		はなさき路の賑わいづくり事業 弁天島周辺エリアの魅力向上に向けた取組【完了】				
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		480			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		0			

地域振興の基本方針の位置付け	自然・歴史・文化を活かした交流人口、関係人口の拡大					
プロジェクト名	交流人口の拡大による地域活性化					
プロジェクトの目的	地域内の宿泊施設や商店等の販売額増加による地域経済の活性化に加え、地域の伝統文化の保存継承や教育環境の充実等の事業推進を通じた人材育成を図る。					
プロジェクトの概要	<p>体験型旅行の受け入れや交流人口の拡大を目指す団体を引き続き支援するとともに、首都圏に住む子育て家族を対象とした保育園留学に取り組むなど新たな交流人口・関係人口創出を目指す。</p> <p>また、温海地域の山岳資源に着目し、登山やトレッキングコースとして親しまれている摩耶山、温海岳に続き、日本国も利活用しやすい環境を整備する。</p> <p>さらに、関川地区活性化計画の目標達成に向けて、しな織関係の売上増や交流人口の拡大を図るための取組を支援する。</p> <p>※関川地区活性化計画＝農山漁村振興交付金を活用した山村活性化を図るため、関川地区に地域資源活用流施設を設置するにあたり、平成28年4月1日付けで「関川地区活性化計画」を策定した。内容は、関川地区の「しな織」を活用し、交流人口の拡大とともに地域産物(しな織関係)の販売額増加に取り組み、地域活性化を図るもの。</p> <p>地域を支える人材の確保として、地域おこし協力隊を導入し、産業振興、教育環境の充実や地域活力の維持・強化を図る。</p>					
期待できる効果	<p>地域団体毎に行ってきた体験型事業をネットワーク化することにより、地域全体を網羅した魅力的な着地型ツーリズムが構築され、旅行者の滞在時間の増加、消費行動の活発化による経済効果が期待できる。また、摩耶山(福栄地区)、温海岳(温海地区)、日本国(念珠関地区)の三山によるネットワーク連携による相乗効果で、新たに山岳観光での地域活性化が期待される。</p> <p>保育園留学により、首都圏に住む子育て親子を受け入れることにより、新たな関係人口の創出と非認知能力を伸ばす教育(SEL: Social & Emotional Learning)に取り組む温海地域の認知度が高まることが期待される。</p> <p>地域おこし協力隊を導入することで、不足する人材の確保につなげ、新たな視点や発想、経験などを生かした地域課題の解決への新たな取組が期待される。</p>					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	あつみ体験旅行推進事業 教育旅行受入をはじめとする体験型観光の推進	○	○	○	○
	(2)	日本国登山イベント実施事業	○			
	(3)	保育園留学による関係人口創出事業	○	○	○	○
	(4)	温海地域魅力発信事業 地域おこし協力隊の配置及び観光コンテンツの造成	○	○	○	

	(5)	温海地域教育環境充実事業 地域おこし協力隊の配置及び教育環境の 充実	○	○	○		
		関川地区活性化計画推進事業 交流人口の拡大としな織関連の地域産物販 売額の増加【完了】					
		日本国登山道(小名部地内)整備事業 日本国登山を活用した交流人口の拡大 【(2)に統合】					
		2022(令和4)年度決算見込み額(千円)					6,439
		2023(令和5)年度当初予算額(千円)					18,177

地域振興の基本方針の位置付け	自然・歴史・文化を活かした交流人口、関係人口の拡大					
プロジェクト名	関係人口拡大の仕組みづくり					
プロジェクトの目的	新たな「地域づくりの担い手」となる人材を温海地域に迎え入れることで、人口減少が背景となって発生する諸課題の解決、地域の総合的な活性化を図る。					
プロジェクトの概要	<p>地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材を関係人口として、関係人口の受け入れや活躍できる仕組みを構築する。</p> <p>手順としては、先進地視察やセミナー開催による地域住民の意識の醸成を皮切りに、ふるさと支援や情報交換を活発にする「プラットフォーム」の立ち上げとそれを運営する中間支援団体の育成を進める。</p>					
期待できる効果	各自治会や団体等が関係人口を「地域づくりの担い手」として受け入れ、交流を進めることにより、地域の伝統文化や産業、安全安心な生活等の維持に加え、空き家活用なども含めた地域の総合的な活性化が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	温海地域支援ネットワーク推進事業 関係人口受け入れを促進するプラットフォームの構築	○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		191			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		186			

地域振興の基本方針の位置付け	農林水産資源のブランド化					
プロジェクト名	地域の食文化継承による地域振興					
プロジェクトの目的	古くから栽培されている在来作物等の継承や認知度向上により、生産者の所得向上と地域経済の活性化を図る。					
プロジェクトの概要	<p>当面は、焼畑あつみかぶと越沢三角そばに特化して取り組む。焼畑あつみかぶについては、安定生産体制の構築を図るとともに、生産者自身が「焼畑農法」に自信と誇りを持てるようにロゴマークをフル活用したプロモーション活動を展開し、焼畑あつみかぶの生産を「生産者主体の地域活動」に結び付けていくことでブランド力を高めていく。越沢三角そばについては、「まやのやかた越沢三角そば生産組合」が主体的に取り組む活動を支援することで生産振興を図る。</p>					
期待できる効果	<p>トップブランドの地域特産品としての知名度に加え、地域の認知度向上が図られるとともに、在来作物等の保存継承、生産者の所得向上による地域経済の活性化が期待できる。</p>					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	焼畑あつみかぶブランド力向上対策協議会への支援	○	○	○	○
		①安定生産体制の構築	○	○	○	○
		②プロモーション活動の支援	○	○	○	○
	(2)	③販路開拓支援	○	○	○	○
		越沢三角そば生産組合への支援	○			
		①打ち手の育成支援	○			
		②プロモーション活動の支援	○			
③品質確保に向けた活動		○				
2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		1,249				
2023(令和5)年度当初予算額(千円)		1,426				

地域振興の基本方針の位置付け	農林水産資源のブランド化					
プロジェクト名	地域の食文化継承による地域振興 (温海地域中山間集落モデル農林業実践事業)					
プロジェクトの目的	再造林の推進と焼畑農法の継承をセットにした仕組みにより、森林からの安定的な収入や雇用の確保、伝統農法の継承、林業振興を図るモデル的な森林循環システムを確立する。					
プロジェクトの概要	温海町森林組合が、温海地域での最良の森林循環システムはどうあるべきか、特産品である「焼畑あつみかぶ」の生産振興や付加価値の追求、収益性も含め検証しながら取り組んでいる活動に、令和2年～令和4年まで市が補助金交付等で支援する。					
期待できる効果	これまで収入を得ることのなかった山林から安定的な収入を得るモデルケースを構築することにより、雇用の創出の他、伝統的焼畑農法継承、森林所有者の負担軽減、再造林による森林の循環、活力ある中山間集落の維持が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
		再造林の推進と焼畑農法の継承を組み合わせたモデル的な森林循環システムの確立支援【完了】				
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		2,700			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		0			

地域振興の基本方針の位置付け	農林水産資源のブランド化					
プロジェクト名	高齢農業者の生きがいづくり					
プロジェクトの目的	小ロット農産物が地域で流通する仕組みづくりや鳥獣による農作物被害を軽減する取組により、高齢農業者も生きがいを持って農業を続けられる環境整備を図る。					
プロジェクトの概要	温海地域において小ロット農産物の質と量を確保するため、鳥獣被害の防止や生産者育成活動に取り組むとともに、安定して生産・集荷・販売される仕組みを構築するため、産直活動を行う組織の活動を支援する。					
期待できる効果	鼠ヶ関に計画されている新たな休憩施設における地域産物の販売体制や学校給食への安定供給体制が確立され、生産者の生産意欲の向上や所得の向上による地域経済の活性化が期待できる。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	温海地域小ロット農産物生産振興事業 ①新たな産直組織の円滑活動を支援	○	○	○	○
		②野菜づくり後継者育成活動支援	○	○	○	○
		③生産者自らが出店販売する活動(軽トラ市)支援	○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		460			
2023(令和5)年度当初予算額(千円)		500				

地域振興の基本方針の位置付け	農林水産資源のブランド化					
プロジェクト名	地域資源を活用した農山村集落の活性化					
プロジェクトの目的	地域資源の発展的コラボレーションや未利用資源の活用により、地域に新たな価値を創造し、地域経済の活性化を図る。					
プロジェクトの概要	しな織と鶴岡シルクのコラボレーションによる新製品の研究開発を進める。また、しなの木の花等を活用した新商品のPRや、新たな製品の研究開発を産官学連携により進める。					
期待できる効果	地域経済の活性化とその事業化による雇用創出が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	温海地域伝統的工芸品振興事業 しな織の保存継承に向けた取組支援	○	○	○	○
		糸の文化で新たな価値創造プロジェクト 事業 しな織と鶴岡シルクのコラボレーション模索 【完了】				
		しなの花活用プロジェクト事業 しなの木の花を活用した新製品研究開発 【完了】				
		関川しな織人材・体験等支援事業 糸づくり体験等人材育成の取組支援 【(1)に移行】				
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		450			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		1,091			

地域振興の基本方針の位置付け	次代を見据えた自治会機能とコミュニティ機能の強化					
プロジェクト名	地域コミュニティの基盤強化					
プロジェクトの目的	持続可能な集落の将来像を示す「集落ビジョン」の策定を促し、自治会機能の維持とコミュニティ強化を目指す。					
プロジェクトの概要	各自治会役員や集落住民を対象にビジョン策定に向けた研修会を行うなど、ビジョン策定の機運を高め、策定の取組みを支援する。					
期待できる効果	<p>集落ビジョン策定への意識が向上し、前向きに取り組まれることが期待される。</p> <p>また、集落ビジョンを策定する過程において、将来の目指す姿と実現に向けた取組みを住民同士が話し合うことで、集落の課題や魅力を再確認する動機付けとなり、課題解決に向けた体制強化が図られる。</p>					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	温海地域集落ビジョン策定支援事業	○	○	○	○
		温海地域ICTを活用した課題解決研究事業 ICT活用の情報伝達や生活支援の仕組み構築に向けた調査研究 【市全体のデジタル化の取組へ移行】				
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		0			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		300			

地域振興の基本方針の位置付け	海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備							
プロジェクト名	資源を活かした地域活力の創造							
プロジェクトの目的	<p>鶴岡シルクタウンプロジェクトの一貫工程の土台となる養蚕の振興を図るとともに、養蚕の共同作業による地域コミュニティの活性化及び高齢者のいきがづくりを促進する。</p> <p>地域の自然や文化等の資源を生かした子育て環境の充実を図ることで、若い世代が安心して暮らし続けられる基盤を整備する。</p>							
プロジェクトの概要	<p>養蚕に取り組む団体を支援し、繭生産のみならず蚕の新たな活用、付加価値の創造を通じ、高齢者の生きがいに貢献する。</p> <p>さらに、豊かな自然環境、伝統文化、産業資源に恵まれた温海地域において、自然とのふれあいや体験を通じ、子どもの感性を磨き、健やかな成長を育むために多重知能理論に基づく「生きる力を育む教育」の実践のため、研修や各種体験事業を行う。</p>							
期待できる効果	<p>養蚕により、鶴岡シルクタウンプロジェクトにおける一貫工程の土台の維持、廃校や耕作放棄地の有効活用、蚕の次世代資源への活用展開や共同作業による地域コミュニティの活性化や高齢者の生きがいの促進が期待される。</p> <p>地域資源を活用した特色ある教育の実践を通じ、地域の魅力・価値が上昇していくことで、子育て世代の定住化が図られる。さらに、体験事業の実施や特色ある教育の情報発信により、温海地域への交流人口・関係人口の増加や定住人口・移住者の増加に結び付ける。</p> <p>また、この教育が多くの支持、評価を受けることで、若い世代の定住や他地域からの移住を実現させ、地域を支える人材の確保にもつなげていきたい。</p>							
実施スケジュール	具体的な事業項目				2023	2024	2025	2026以降
	(1)	温海地域養蚕環境整備事業 年金プラスαの生きがいを支援	○	○	○			
	(2)	温海地域自然資源を生活かした教育環境整備による定住促進事業 地域の特色を生活かした住民主体による子育て環境整備	○	○	○	○		
		温海地域遊休資産等利活用に向けた市場調査事業 廃校利用の検討と民間ノウハウ活用に向けた取組【公有財産管理へ移行】						
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		1,522					
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		1,807					

地域振興の基本方針の位置付け	海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備					
プロジェクト名	地域に即した交通手段の確保					
プロジェクトの目的	地域に適した公共交通体系を構築することにより、今後増加が予想される交通弱者等の移動手段の確保を目指す。また、地理的要因により通学費負担が大きい高校生世帯を支援することにより、条件不利地であっても、地域を離れず将来にわたり暮らし続けられる生活環境の確保を図る。					
プロジェクトの概要	<p>温海地域公共交通網形成事業については、令和元年度に実施した調査検討を踏まえ、令和2年10月から乗合タクシーの試験運行を実施し、その検証をもとに地域に適した公共交通網を構築し、令和5年10月からの本格運行を目指す。</p> <p>高等学校等生徒通学費支援事業については、一定額以上の通学費を負担している高等学校等生徒保護者に対する支援を行う。</p>					
期待できる効果	<p>交通弱者等も利用しやすい公共交通網を整えることで、買物、通院等への負担が軽減され、住み続けられる生活環境が整備されるとともに、公共交通ネットワークの形成により、人口減少に対応した都市機能の集約化、効率化が図られる。</p> <p>また、高等学校等生徒通学費支援にあつては、地域外への人口流出の抑制、地域差による子育て世帯負担の軽減、通学利用による公共交通機関の利用率向上が期待できる。</p>					
実施スケジュール	具体的な事業項目		2023	2024	2025	2026以降
	(1)	温海地域公共交通網形成事業 地域に適した移動手段構築に向けた取組【交通輸送対策事業】	○	○	○	○
	(2)	温海地域高等学校等生徒通学費支援事業 一定額を超える通学費負担に対する支援	○	○	○	○
	2022(令和4)年度決算見込み額(千円)		26,148			
	2023(令和5)年度当初予算額(千円)		27,970			